

象、成功体験などで幼稚園か保育所か決めている学生や、実習園の雰囲気や幼稚園はこのように感じ、保育所はこのように感じとイメージを持つ学生もいる。

### 3. 就職指導の特徴

- ・積極的に幼稚園見学に行くよう指導している。
- ・幼稚園か保育所にするかは実習にいて本人に決めさせる。
- ・就職活動前に面接を行い、本人の希望を把握している。
- ・周囲の動向に左右されず、諦めずにじっくり取り組ませる。
- ・併願はしないよう伝えている。
- ・10月の実習が終わるまで、就職活動はしないように指導している。
- ・園見学に際して、確かめる部分、質問内容を明確にするよう指導している。
- ・ボランティアやアルバイトに行くように指導している。
- ・履歴書の書き方や面接指導を行っている。
- ・内定を受けた学生のガイダンスを実施している。
- ・卒業生や外部講師、キャリアのある人の話を聞く機会を設けている。
- ・大学のキャリアセンターを通すように指導している。
- ・実習中に就職の誘いを受けても決めてこない。まずは「よく考えてから就職課に求人を出して欲しい」と言うように指導している。
- ・ホームページで応募先の幼稚園を比較する学生も増えている（体操・英語・習い事が多い園は敬遠される）。
- ・求人票は紙だけでなく、スマートフォンでも見られるようにして情報提供している。
- ・学校独自で園長連絡会や企業説明会を開催している。
- ・公立を受験する学生には、公立受験対策指導を行っている。
- ・給料だけでなく諸条件等もしっかり確認するようには伝えている。

### 4. 幼稚園に伝えたいこと

- ・今の学生は失敗体験が少ないので、簡単に自信を無くして帰ってくる。初めからできる人はいないので、「あなたの足りない所は、ここよ。学校に帰ったらここを勉強すると良いよ」等アドバイスや励ましてもらえるとうれしい。
- ・良い所を1つ褒めてもらうことにより、やる気が出てくる学生もいる。
- ・学生はまだ学んでいる途中という認識を現場の先生方に持って欲しい。
- ・指示を一貫して欲しい。または、誰が責任を持って指導するのか明確にして欲しい。
- ・学生が質問したことに対し「こんな事も分からないの」「自分で考えて」などの返答はやめて欲しい。
- ・1日の責任実習をさせてもらえるのは圧倒的に幼稚園が多い。保育所は部分実習を何日にもわたって行っていることが多い。
- ・幼稚園は比較的厳しく指導的な保育が行われ、保育所は伸び伸びと遊びを中心にした保育が行われており、養成校では新指導要領をもとに園児の主体的な学びを指導している上で、指導的な幼稚園での学びにギャップを抱く学生がおり、保育所に志望を変更する場合がある。
- ・実習園での対応で幼稚園や保育所のイメージが出来てしまう。優しく接してもらえるこ

とで学ぶ意欲にもつながる。厳しさも必要だが、厳しさだけでは、今の学生は折れてしまうので、配慮が必要。養成校も同じく悩んでいる。

- ・何歳児に配属されるか、ピアノの課題曲は何かオリエンテーション時に教えて欲しい。実習中だと練習する時間が取れない。
- ・学校は1期と2期の実習を同じ園になるべく行かせない。しかし、園によっては1期と2期の実習が同じ学生でないと受け入れない場合がある。
- ・小学校では実習を実験的に週1回で1年間という形をとっていることもある。そういう方法があっても良いのではないか。
- ・男子学生の実習を受け入れて欲しい。
- ・自分で実習先を見つけるので、多くの受入れをお願いしたい。
- ・実習を受ける側の研修が、養成校と保育所の間で行われている。学生が実習でどのような力を身につける必要があり、そのためにどのような指導を行うべきか検討している。幼稚園でも同じような実習指導の在り方、要望を伝えられる場を一緒に考えていきたい。
- ・実習日誌<保育者の視点>に対してと厳しく否定されることがある。
- ・同じ園でも、担当教諭によって指導内容に違いがある。また、実習中、園長先生と実習担当の求めるところが異なる園もある。実習担当教諭により学生の進路に影響を及ぼすこともある。
- ・実習を通して幼稚園で働く良さ、子ども達の成長など、プラスのイメージを抱けるような話を多く持って欲しい。
- ・就職の情報提供をしっかりとって欲しい。育休産休制度、給与の伸び率等詳細を教えてもらえると、将来像を描ける。保育所は透明性を感じる。
- ・実習ではかなり緊張しているので、実習のみで採用の判断をするのではなく、別の機会(ボランティアなど)にも、その学生に関わって欲しい。
- ・園長先生の説明だけでなく、幼稚園の見学が自由にできるようになっていると、その幼稚園をより理解ができると思う。自由に見学させていただき、終了時に感想を聞いてもらうくらいが良いと思う。
- ・学校側も幼稚園の良さは十分に話しているし、最初の就職先としては幼稚園を進めている。より具体的な姿が見えれば、(イメージとして、良さが伝わりにくい)変わっていくと思う。
- ・幼稚園の園長先生へ学生に説明してもらうことも多いが、幼稚園の園長先生は学生に指導的な言い方になってしまう方が多い。一方で、企業系保育所は下から上手く話し、乗らせることが上手いと感じる。また、採用に使う費用も相当かけている。
- ・企業が運営する情報サイトは保育業界のことをあまり理解していない場合もあり、情報サイトからの就職はトラブルになるケースもある。したがって、幼稚園側としてもっとHPなどで園児募集だけでなく、リクルートの情報もしっかり上げて欲しい。
- ・採用面接での、プライベートな質問はやめて欲しい(彼氏の存在、結婚願望等)。

#### 4-3. 幼稚園就職のための冊子作成の配布効果と実績

第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会において、養成校担当者に配布を行い、冊子の感想を伺うと、時代背景からインターネット等を通じての職場探し、園の情報収集

が主になりつつあるが、紙媒体によるアナログ的なフリーペーパーの活用は、手にした人がじっくりと情報に目を通すことできる。また、人生の大きな分岐点である就職活動において展開するツールのひとつとして大いに役立つと思われるといった声が寄せられた。最終的に 7000 部を作成し、首都圏の養成校約 140 校及び関係園等に対して配布を行った。

#### 4-4. 第 2 回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会の成果

第 1 回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会から採用につながったという声はアンケート調査に反映されており、3-3でも触れたとおり、大きな成果がみられた。第 2 回目は養成校 2 校にご協力いただき、採用動向に関するパネルディスカッションを行った。養成校・幼稚園とも忌憚のない意見が飛び交い、大変活発で有意義なコミュニケーションを取ることができた。

とりわけパネラーを引き受けていただいた 2 校の講師による現場最前線の話は大変貴重なものであり、参加者は熱心に耳を傾けていた。年度が終了を迎えるタイミングでの開催ということもあり、今年度の採用について養成校・幼稚園お互いが顧みる良い機会であった。

#### 4-5. W e b 活用の成果

本報告書作成段階の 2 月末時点では、W e b ページ（ランディングページ）を作成して短期間であったことや、広告配信期間が短くメルマガ等への登録者数は僅少であった。広告の表示回数は一般ワード検索による表示回数が多いため、表示回数自体が多くても幼稚園や保育所への就職を考えている学生にリーチできているかは不明である。学生の就活へ向けて動き出すタイミングとしても緩やかに見受けられる。2019 年春卒業予定の大学生らの就職活動が本格的にスタートする 3 月 1 日以降に、指名ワード検索による表示回数や広告クリック数、登録者数の上昇がある程度期待される。(P. 18~P. 19にW e b ページの参考資料)



都内の幼稚園で働きませんか？

# 幼稚園にいこう!!

「登録無料」  
幼稚園へ就職するための  
お役立ち情報を発信！  
**メールマガジン**  
ご登録はコチラ！





先生が紹介してくれた「えん」  
家の近所に昔からある「えん」  
そして、  
今日、ここで出会った「えん」  
就職先に困らないこの時代に、  
私は、この「えん」を選んだ。  
届け、この想い。  
お申込みはこちらから

## 幼稚園フェア

### 私立幼稚園合同就職説明会

平成30年**4月22日(日)**  
**新宿エルタワー30F**  
主催：東京都私立幼稚園連合会 後援：東京都

## 最新情報

- 

**お知らせ**

2018.2.2  
2018年 幼稚園フェアを開催！

東京都私立幼稚園合同就職説明会 「幼稚園フェア」を開催！東京都の私立幼稚園が集まる合同...

More >



**お知らせ**

2018.2.1  
ホームページを公開しました！

幼稚園にいこう!! のホームページを開設しました。東京都の幼稚園へ就職するためのお役立ち...

More >

More >

## 幼稚園で働きませんか？



元気な子供たち、仲間の先生方と一緒に  
楽しい時間を過ごしませんか？

**幼稚園にいこう!!**

小さな子どもとふれ合って、笑い合いながら生活の中で学び、一緒に成長していく幼稚園の先生という仕事。

今は世の中にたくさんの幼児施設があって、どこが良いのかわからない方も、何が本当に子どものためになるのか悩んでいる方もいることでしょう。

何のために働くのか？  
誰のために仕事をやるのか？

皆さんが就職先を選ぶにあたって大切なことは、施設の規模や仕事の大変さではなく、こんなことなのかもしれません。

子ども達が初めて社会参加する時、初めて先生に出会う場所が幼稚園。やりたいことを見つけて夢中になったり、寂しくて泣いてしまったりする毎日のドラマに、先生はその存在自体が大きな役割です。なぜなら、先生は子ども達の憧れの的。その憧れは態度や行動にまで影響して、大きな成長の原動力になります。

先生が笑顔に輝いていれば、周りにいるたくさんの子ども達が一緒に輝きだします。先生の実顔には子どもの未来を変える力があるでしょう。

もしも、「幼稚園の先生になりたい」という夢があるのなら、是非その夢を叶えて下さい。「自分に自信がない」と夢に迷うなら、素敵な自分でありたいかどうか、自分自身に問いかけてみて下さい。

めくるめく感動のドラマの中で、子どもの夢を全力で応援する幼稚園教諭の仕事は、子どもだけでなく先生自身が豊かに成長し、幸せになっていくストーリーでもあります。

## メルマガ会員募集中！

登録  
無料  
*Mail Magazine*

幼稚園の就職お役立ち情報や  
仕事の魅力をメールでお知らせします。

東京都私立幼稚園連合会の「幼稚園にいこう!!」Webサイトでは、都内の私立幼稚園就職お役立ち情報を盛り込んだメルマガを発行しています。

「就職先として幼稚園に興味はあるけど、実際のところはどうかのだろう」  
「幼稚園の先生になったら、どんなやりがいがあるだろう」

全国最多の幼稚園が集まる東京都、私立幼稚園への就職に興味がある方、幼稚園の先生という仕事の魅力を知りたい方、どうぞお気軽にご登録ください！



幼稚園へ就職するためのお役立ち情報を発信！

# メールマガジン

登録無料

ご登録はコチラ>

未来を創るのは子供です

東京都私立幼稚園連合会 >

加算幼稚園一覧 >

採用希望者登録申込 >

都内の幼稚園で働きませんか？  
**幼稚園にいこう!!**

幼稚園へ就職するためのお役立ち情報を発信！

# メールマガジン

ご登録は  
コチラ



## 調査研究を終えて

今回の調査を終え、多様な場面で教員養成校と幼稚園の関係性の深さが改めて明らかになった。また、幼稚園教諭の職を求めている学生が、各養成校の就職指導担当者との直接対話で就職活動を行っている実態も垣間見えた。これは、現代の学生たちが就職活動で使用するとされる幼稚園就職情報入手の媒体が少ないといった、問題点があげられるであろう。今回作成した幼稚園就職のための冊子も、各養成校の就職課が窓口となり、限られた学生にしか配布ができなかったり、Web広告も掲載機会が限られていることから幼稚園教諭についての情報発信が進まなかったためであり、今後幼稚園教諭の社会的認知度の向上を図るためには、保育士との仕事内容の違いや幼稚園教諭の意義、根本的な幼稚園と保育所の違いについても幼稚園就職のための冊子やWebを活用しつつ、社会に対し丁寧に且つ積極的に情報発信する必要性が考えられる。

教員養成校との交流会では、教員の育成段階から現場と情報共有を図ることが、その後の進路に大きく影響することから、今後は人材確保の土壌整備の観点を重視しながら充実発展させていく必要がある。

今回予定していた合同就職説明会（幼稚園フェア）が委託契約前の実施となったため、多くの予算を未執行としたことは大変残念であった。しかし、学生と現場の幼稚園教諭が直接対話する機会は、今年度の採用実績からもわかるとおり、人材確保のためには大変有効な手段であった。また、合同就職説明会参加園においても、現場の教員が学生にかかわる過程で大きな成長の機会となることが判明した。今後は人材確保ならびに現場の教員の資質向上を目指し、充実発展させていく必要もある。

取り組み初年度としての結果と反省点を踏まえ、来年度も引き続き人材確保のための更なる工夫を加えると共に、現場の教員の雇用継続と離職防止にも視点を広げ、事業の発展をはかりたい。

東京都私立幼稚園連合会  
幼稚園の人材確保支援事業  
調査研究実行委員会

## 幼稚園の人材確保 調査研究実行委員会 委員名簿

委員長 大澤 力 東京家政大学子ども学部子ども支援学科教授

副委員長 堀江真嗣 東京都私立幼稚園連合会経営研究委員会委員長（北区・桜輪幼稚園園長）

委員 吉原宏幸 東京都生活文化局私学部私学行政課長

委員 山下和宏 文京学院大学キャリアセンターチーフ

委員 野村良司 東京都私立幼稚園連合会経営研究委員会副委員長（大田区・パール幼稚園園長）

委員 千葉伸也 東京都私立幼稚園連合会経営研究委員会副委員長（新宿区・伸びる会幼稚園園長）

（敬称略）

作成協力 東京都私立幼稚園連合会 経営研究委員会

東京都私立幼稚園連合会

---

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館内 電話 03-3262-3666 F A X 03-3264-6195